

平成元年
10月22日

市制100周年
記念号

にいがた



多・麗ろうふるさと つくろう新潟217



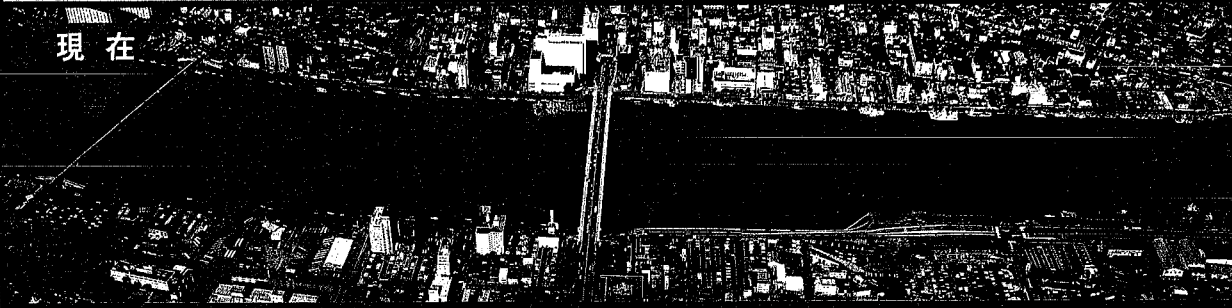
市制100周年 新潟市

発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 学校町通1-602-1 編集 企画部広報課 印刷 朝第一印刷所

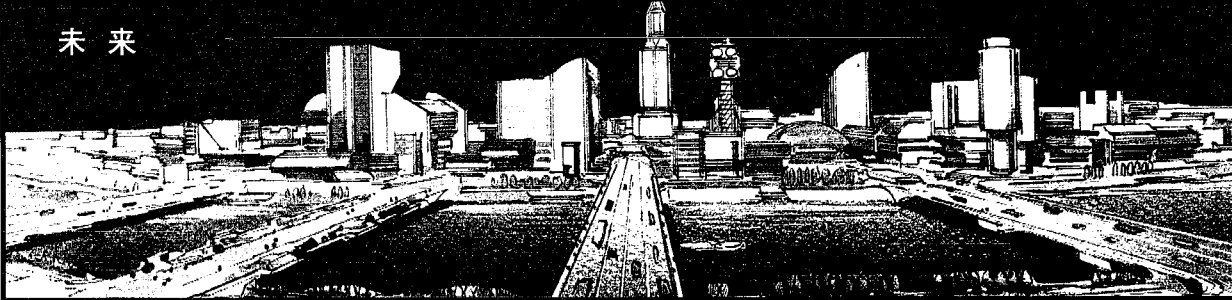
過去



現在



未来



NEXT100

これからの100年にむけて

今年、市制100周年を迎えた新潟市は次の100年に向けて飛躍することを願い、各種の記念事業を多くの市民のみなさんと共に展開しています。新しい100年はどんな時代でしょうか？市報にいがた記念号では、「新潟のまちが、わたしたちの生活がどう変わるか」、未来の新潟について特集しました。

市民憲章

わたしたちのめざす新潟

信濃、阿賀野のゆたかな川の流れが海にそそぎるところ、ここがわたしたちのまち、新潟。日本海に沈む夕日が美しい。海のかなたの国ぐににむけて開かれたこの港まちは、流れのほとりの木のように、いよいよ育ち、榮えている。人びとは、昔から、力を合わせ、ねばり強く、この自由な開かれたまちを築いてきた。さあ、わたしたちも、いま、たしかな一歩を踏み出そう。わたしたちが望む新潟をめざして！

ゆたかな海の幸と田畑のみり。
新潟は、自然がいかにされ、まもられるまち。

働くよろこび、憩いの静けさ。
新潟は、活気にあふれ、落ちつきのあるまち。

すこやかな生活は、わたしたちすべての願い。
新潟は、みんなで生きるために、助け合うまち。

はぐくむ心が、いのちを育てる。
新潟は、一人ひとりが大切にされ、いかされるまち。

海のむこうは、友となる国ぐに。
わたしたちは、世界の平和のかけ橋となる。

私たちのまち「新潟」は、明治二十二年四月一日に市制を施行し、今年で一〇〇周年を迎えました。これまでも、たゆみない発展を続けてきた新潟市にとって、今日ほど発展の要素に満ち、日本海側の中核都市としての重要性を増してきている時期はありません。将来に向けての大きな発展の可能性を持つ本市にとって、これからのまちづくりは、さらに市民と行政が一体となって進めていくことが必要であります。そこで、新潟市では、市制一〇〇周年を期して、本年四月一日には、「市民憲章」を制定いたしました。この「市民憲章」は、将来を展望したまちづくりを進めていく指針となるよう、また、ながく、私たちの心にとどめられ、新潟の心となつてほしいとの願いから、制定したものであります。これからの一〇〇年に向けて、時代は高度情報化、国際化、高齢化という大きな流れを確実に示し、新しい時代の到来を告げています。このような中で、私たちは、新潟市の特性を継承、発展させ、次の世代に誇りを持って引き継ぐことができるような新潟市を創造していかなければなりません。市民憲章の中でも、うたわれている、新潟の豊かな自然が生かされ、大切にされるまち。活気がある中にも、人々の心の中にゆとりと安らぎを感じさせるまち。そんなまちづくりを市民の皆さんと共に目指していこうと、決意を新たにしております。



市長
吉野 元喜